

所属：保健管理センター

教授 小林 由直 (こばやし よしなお)

カテゴリ) 医学・薬学

《一言アピール》 炎症の進展や発癌に関与します。現在はこの代謝異常のメカニズムを臨床的および基礎的検討により研究しています。

研究テーマ

Research Themes

■ グルクロン酸抱合酵素の遺伝子多型および有機アニオン輸送体の異常と体質性黄疸との関係 (写真1)

黄疸の原因物質であるビリルビンの代謝に関与する有機アニオントランスporterおよびグルクロン酸抱合酵素(bilirubin UDP-glucuronosyltransferase: UGT1A1) の遺伝子解析および機能解析を行ない、我が国における体質性黄疸との関係を報告して来ている。

■ C型肝炎ウイルスによる鉄代謝異常と糖代謝異常：酸化ストレスを介した発生メカニズムの解明 (写真2)

HCV感染があると肝細胞内の鉄が蓄積し、炎症の進展や発癌、さらには糖代謝異常にも影響を与えることを報告してきた。現在は、鉄代謝異常から糖代謝異常への分子伝達機構について、特に酸化ストレスの発生を介するシグナル経路に注目して臨床的および基礎的な解析を行なっている。

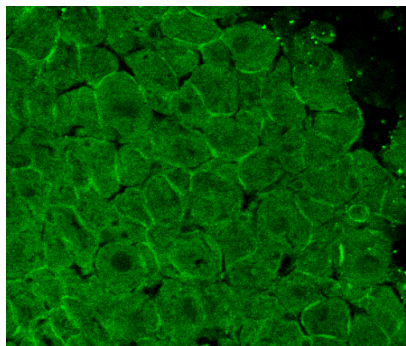


写真1: MRP2欠損ラットの肝細胞膜に発現させたヒトMRP2蛋白

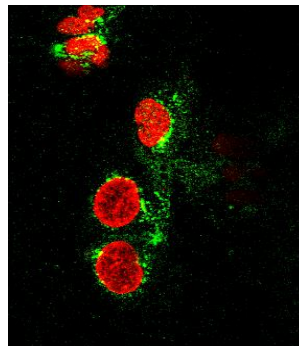


写真2: 緑色は肝細胞内に鉄を輸送しているトランスフェリン受容体1。赤色は核

(画像は全て三重大学全学シーズ集HPより)

応用分野

- 医療分野

特許

- 特開2006-101837UGT1A7核酸配列の変異検査方法

所属学会

- 日本内科学会：総合内科専門医、東海地区評議員
- 日本消化器病学会：専門医、学会評議員
- 日本肝臓学会：専門医、指導医、西部会評議員
- 日本消化器内視鏡学会：専門医
- 日本鉄バイオサイエンス学会

論文

- J Gastroenterol Hepatol. 2012; 27: 1129.
- Diabetes Res Clin Pract. 2011; 94: 468-70.
- Clin J Gastroenterol 2011; 4: 179-183.
- Hepatol Res. 2011; 41: 364-74.
- Hepatol Res. 2010; 40: 1188-94.
- Am J Gastroenterol. 2008; 103: 1413-20.
- J Viral Hepat. 2008; 15: 498-507.
- Br J Cancer. 2008; 98: 580-6.

関連ホームページ

- 三重大学保健管理センター <http://www.mie-u.ac.jp/health/>
- 三重大学大学院医学研究科 消化器内科学 <http://www.medic.mie-u.ac.jp/gastro/index.html>

☆詳細は、HPをご覧ください。